

貴志川高等学校

実施日時	平成30年 11月 5日(月)
参加者	生徒531名、教職員57名、地域住民91名 計752名
実施内容	地震発生に伴う火災避難訓練、AEDを使用した「救命救急訓練」、土嚢づくり訓練、 α 米炊き出し訓練、簡易トイレ組立訓練、足湯設置及び介添え訓練、間仕切り(パーティション)設置訓練、耐震車「ごりょうくん」による地震体験、防災ずきんづくり、避難所運営ゲーム(HUG)訓練、講話「災害時の自衛隊の対応について」、実践報告「西日本豪雨被災地支援活動をとおして」、自衛隊特殊車両【災害救助用】の展示

事前の取組

平成30年6月11日(月)

地域連携会議①(於 貴志川高校 会議室)

平成30年7月30日(月)

地域連携会議②(於 貴志川高校 会議室)

平成30年8月19日(日)

事前準備作業(於 貴志川支所)

間仕切り(パーティション)設置訓練のリハーサル

簡易トイレ組立訓練のリハーサル

平成30年9月10日(月)

地域連携会議③(於 貴志川高校 会議室)

平成30年10月19日(金)

地域連携会議④(於 貴志川高校 会議室)

平成30年12月7日(金)

地域連携会議⑤(於 貴志川高校 会議室)

- ・ふりかえり作業：今回の防災スクールにおける課題の洗い出し・次回へ向けての改善点等について

主なプログラム

- 1、AEDを使用した「救命救急訓練」写真①参照
- 2、 α 米炊き出し訓練 写真②参照
- 3、簡易トイレ組立訓練 写真③参照

4、足湯設置及び介添え訓練 写真④参照

5、間仕切り(パーティション)設置訓練

写真⑤参照

6、土嚢づくり訓練 写真⑥参照

7、耐震車「ごりょうくん」による地震体験

写真⑦参照

8、防災ずきんづくり 写真⑧参照

9、講話「災害時の自衛隊の対応について」

写真⑨参照

10、実践報告「西日本豪雨被災地支援活動をとおして」 写真⑩参照

11、自衛隊特殊車両【災害救助用】の展示

写真⑪参照

12、避難所運営ゲーム(HUG)訓練

写真⑫参照

参加者感想文

- 耐震車「ごりょうくん」に乗って、震度7の地震を体験したので、実際に訓練しておかないと、急に対応ができないなと思った。(Aさん)
- α 米の「炊き出し」は思っていたよりも案外おいしかった。貴志川日赤奉仕団の方々と一緒に炊き出し訓練をして、楽しかった。(Bくん)

○事前の準備も大変だったけど、訓練本番当日も
予期せぬことがあり、「簡易トイレの組み立て作
業」が思ったよりも時間がかかり、しんどかつ
たです。でも、「段ボール」って、こんな使い方
があるのだと勉強になりました。(Cくん)

○高校生と一緒に「防災訓練」をすると、自分た
ちだけでやるのとは違った新たな発見がありま
した。今後も、機会があるごとに、高校と関わり
を持っていきたい。(地域住民のDさん)

○自衛隊の活動って、ニュースなどでしか見て知
っていなかったですが、生の声を聞いて、さま
ざまな救助活動に従事されていることを知るこ
とができて、よかったです。(Eさん)

○土嚢づくり訓練では、今までと違い、自衛隊の
方が見本で作ってくれた「土のう」はレンガの
ように、カチカチでびっくりしました。(Fくん)

成果と課題

今回の「高校生防災スクール」については、高
校生主体で計画・立案し、紀の川市社会福祉協議
会の協力をいただきながら、紀の川市・自治会・
老人会・防災福祉ボランティア会・貴志川日赤奉
仕団・自衛隊等の協力もいただきながら、連携を
図って、「避難所運営ゲーム(HUG)」をはじめ、
さまざまな訓練を通して、実際の場面における課
題等も見えて、次回の訓練に対する教訓も学べた。
昨年度に引き続き、地域との連携を大切にしたい訓
練で成功裏に終わった。

写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨-1



写真⑨-2



写真⑩



写真⑪



写真①



写真②



写真⑫



11/8和歌山新報

